

科目名		臨床医学Ⅱ	教員名	可知 謙治	学科等	保健栄養	選択	履修年次	3
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	D302研究室	
授業概要		国際生活機能分類の考えに基づき、人間の健康状態を心身機能・構造の変化と環境因子・個人因子の影響から幅広くとらえ、「疾病を持って生きる人間」としての活動や参加のあり方を学ぶ。疾病の時間経過（発症、急性期の治療、リハビリテーション、在宅での慢性期管理、合併症予防、終末期）による患者と家族の心身の変化を理解する。「疾病を持って生きる人間」の社会参加を支援するチーム医療活動を知り、社会資源の利用を含めた患者中心の医療を学ぶ。							
目的・目標		目的:「臨床栄養学」や「栄養教育論」を学ぶ前提として、どのような栄養療法が有効なのか理解できるように疾病の病態について十分な知識を持つ。 目標:主要な疾患の病因・病態、臨床症状、検査・診断、治療について理解する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	疾患の治療		到達目標:栄養・食事療法、薬物療法などの目的や方法がわかる。 学習内容:治療の種類と特徴を学ぶ。					
	2	ビタミン異常症		到達目標:ビタミン過剰症や欠乏症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:ビタミン異常症の病態と治療を学ぶ。					
	3	ミネラル異常症		到達目標:ナトリウム、カリウム、カルシウム異常症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:ミネラル異常症の病態と治療を学ぶ。					
	4	口腔疾患		到達目標:口内炎、舌炎などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:口腔疾患の病態と治療を学ぶ。					
	5	皮膚系疾患		到達目標:熱傷、褥瘡について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:皮膚系疾患の病態と治療を学ぶ。					
	6	こころとからだの臨床(1)		到達目標:神経性食欲不振症、神経性過食症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:摂食障害の病態と治療を学ぶ。					
	7	こころとからだの臨床(2)		到達目標:うつについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:気分障害の病態と治療を学ぶ。					
	8	こころとからだの臨床(3)		到達目標:統合失調症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:精神疾患の病態と治療を学ぶ。					
	9	循環障害		到達目標:ショック、肺動脈血栓塞栓症の病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:循環障害の病態と治療を学ぶ。					
	10	加齢・生活習慣と疾患(1)		到達目標:脳腫瘍、肺癌について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:呼吸器系悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
	11	加齢・生活習慣と疾患(2)		到達目標:食道癌、胃癌、大腸癌などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:消化器系悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
	12	加齢・生活習慣と疾患(3)		到達目標:肝癌、胆嚢癌、膵癌について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:消化器系悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
	13	加齢・生活習慣と疾患(4)		到達目標:腎細胞癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:腎・尿路系悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
	14	加齢・生活習慣と疾患(5)		到達目標:卵巣腫瘍、子宮癌などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:婦人科領域の悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
	15	加齢・生活習慣と疾患(6)		到達目標:白血病、悪性リンパ腫などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:血液・造血器系の悪性腫瘍の病態と治療を学ぶ。					
成績評価の方法・基準		対面時、オンライン時ともに期末試験の成績（100%）で評価する。							
教科書		栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版 2年次購入済			田中明、藤岡由夫編		羊土社		
参考図書		栄養アセスメントに役立つ臨床検査値の読み方考え方 ケーススタディ 内科学(第12版)			奈良信雄著 矢崎義雄・小室一成総編集		医歯薬出版株式会社 朝倉書店		
教員からのメッセージ		これまでに学んだ知識の総まとめをしながら、氾濫する情報の科学的根拠を読み解く力を身につけましょう。疾病の成り立ちⅠ・Ⅱ、臨床医学Ⅰで網羅できなかった内容を中心に、診療ガイドラインの更新にともなう変更内容を取り入れています。病院に勤務した医師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスでシラバスの変更を周知します。							